

平成23年度 事前評価実施地区一覧表

四国森林管理局

整理 番号	都道府県	事業実施主体		事業名	事業実施地区名		総便益 (千円) B	総費用 (千円) C	分析 結果 B/C	チェックリスト															備考	
										I 必須事項					II 優先配慮事項											
										1	2	3	4	5	1 有効性		2 効率性		3 事業の実施環境等							
															(1)	(2)	(1)	(1)	(2)	(3)						
					①	②				①	②	③	④	⑤												
1	徳島県	四国局	徳島署	森林環境保全整備	吉野川計画区	よしのがわ	3,074,491	906,898	3.39	○	○	○	○	○	B	A	B	A	A	A	A	B	C	A	A	
2	愛媛県	四国局	愛媛署	森林環境保全整備	南予計画区	なんよ	6,419,664	992,277	6.47	○	○	○	○	○	B	A	B	A	A	A	A	B	C	A	A	
3																										
4																										
5																										
6																										
7																										
8																										
9																										
10																										
11																										
12																										
13																										
14																										
15																										
16																										
17																										
18																										

※森林環境保全整備事業、森林居住環境整備事業ごとに別様とする。

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成24年度～平成28年度																				
事業実施地区名 （都道府県名）	（よしのがわ） 吉野川森林計画区 （徳島県）	事業実施主体	四国森林管理局 徳島森林管理署																				
事業の概要・目的	<p>当事業は、徳島県北部に位置する吉野川森林計画区内の国有林野11,830haを対象としている。</p> <p>当計画区は、西部は吉野川の上流、高知県境から、東部は紀伊水道沿岸部までの徳島県北部に位置し、年平均気温15℃、平均年間降水量1,500mm程度となっている。</p> <p>当計画区内の国有林野は、吉野川の支流、祖谷川及び穴吹川・貞光川上流の高海拔地域に分布している。林種別の面積をみると、人工林3,711ha、天然林6,524ha、無立木地等1,595haとなっており、人工林の齢級配置は、7～12齢級の森林が85%で、スギが66%を占めている。天然林は、剣山、三嶺、矢筈山、鳥帽子山等周辺に分布しており、多様な樹種、林相からなる自然美に優れているところも多く、その大半が自然休養林等のレクリエーションの森として剣山国立公園の特別地域内に指定されている。</p> <p>また、当計画区の国有林野は、保安林整備臨時措置法により買い入れた林地が80%を占め、全てが水源涵養保安林を主体とする保安林に指定され、国土保全、水源の涵養、国民の保健及び休養の提供等、公益的機能に重要な役割を果たしており、国土の保全、水源の涵養に加え、木材利用の推進、生物多様性の保全、森林環境教育の推進、森林とのふれあいや国民参加の森林づくり等公益的機能の発揮、とりわけ自然環境の保全に関する地域の要請は高くなっている。</p> <p>このため、本事業においては、これら地域の要請に応えるとともに、地球温暖化防止にも積極的に寄与するため、植栽等の更新作業、間伐等の保育作業及び効率的な森林整備を推進するための路網整備を実施し、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備、間伐材等の利用推進に資することを目的とする。</p>																						
	<table border="0"> <tr> <td>主な事業内容</td> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>59 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>826 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>8.5 km</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>9.6 km</td> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td colspan="3">914,287 千円</td> </tr> </table>	主な事業内容	森林整備	更新面積	59 ha			保育面積	826 ha		路網整備	開設延長	8.5 km			改良延長	9.6 km	総事業費	914,287 千円				
主な事業内容	森林整備	更新面積	59 ha																				
		保育面積	826 ha																				
	路網整備	開設延長	8.5 km																				
		改良延長	9.6 km																				
総事業費	914,287 千円																						
費用対効果分析	総 便 益 (B)	3,074,491 千円																					
	総 費 用 (C)	906,898 千円																					
	分析結果 (B/C)	3.39																					
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 地球温暖化防止対策や国土保全、水源涵養及び保健休養等の公益的機能の発揮や木材の安定供給が求められている地域であり、事業の必要性が認められる。</li> <li>・効率性： 費用対効果分析の結果から、事業の効率性が認められる。</li> <li>・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する機能を十分発揮させる有効な事業であると認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されていると認められる。</p>																						

## 別紙様式 7

整理番号 1

## 便 益 集 計 表

事業名：森林環境保全整備事業

事業実施主体：四国森林管理局

事業実施地区名：吉野川森林計画区（よしのがわ）

徳島媛森林管理署

（都道府県名：徳島県）

（単位：千円）

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	437,927	
	流域貯水便益	162,861	
	水質浄化便益	277,324	
山地保全便益	土砂流出防止便益	500,681	
環境保全便益	炭素固定便益（樹木固定分）	161,505	
	炭素固定便益（森林土壌蓄積分）	31,997	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	154,730	
	木材利用増進便益	4,359	
	木材生産・確保増進便益	348,856	
	木材生産確保・増進便益（森林整備分）	42,272	
	木材生産確保・増進便益（路網整備分）	306,584	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	144,645	
	治山経費縮減便益	313,250	
	森林管理等経費縮減便益	3,603	
	森林整備促進便益	120,222	
	維持管理縮減便益	412,531	
総便益（B）		3,074,491	
総費用（C）		906,898	
費用便益比（B/C）		3.39	

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成24年度～平成28年度																				
事業実施地区名 （都道府県名）	（なんよ） 南予森林計画区 （愛媛県）	事業実施主体	四国森林管理局 愛媛森林管理署																				
事業の概要・目的	<p>当事業は、愛媛県南端部に位置する南予森林計画区内の国有林野11,768haを対象としている。</p> <p>当計画区は、東部及び南部は高研山、大黒山、篠山等の諸山で高知県に接し、西部は宇和海沿岸部に面しており、年平均気温17℃で、平均年間降水量は1,800mm程度で温暖多雨で林木の生育に適した気候下であり、ヒノキを中心とした植林行われており人工林率は54%となっている。</p> <p>当計画区内の国有林野は、宇和島市、鬼北町、松野町、愛南町に分布しており、これらは主として滑床山山系、篠山山系及び狩場山山系にまとまっている。国有林野は宇和島市の上水道の約7割を供給する須賀川の上流域にある若山・八幡山に代表されるように河川の上流域に位置しており、その9割が水源涵養保安林に指定されている。人工林率は73%であり、ヒノキが67%を占めている。人工林の齢級配置は、長伐期化を推進していく中で間伐の対象となる6～12齢級の森林が約8割を占めている。また、天然林は、滑床山、篠山の周辺にまとまっており、これらを中心に足摺宇和海国立公園及び篠山県立自然公園の特別地域に指定されている。</p> <p>一方で、森林に対する国民の要請が国土の保全や水源の涵養、地球温暖化の防止、生物多様性の保全、森林環境教育の推進、森林とのふれあいや国民参加の森林づくり等の面で高まるなど、公益的機能の発揮に重点を置きつつ多様化している。</p> <p>このため、本事業においては、これら地域の要請に応えるとともに、地球温暖化防止にも積極的に寄与するため、植栽等の更新作業、間伐等の保育作業及び効率的な森林整備を推進するための路網整備を実施し、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備、間伐材等の利用推進に資することを目的とする。</p> <table border="0" style="width: 100%; margin-top: 20px;"> <tr> <td style="width: 20%;">主な事業内容</td> <td style="width: 15%;">森林整備</td> <td style="width: 15%;">更新面積</td> <td style="width: 50%;">81 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>2,298 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>6.9 km</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>10.7 km</td> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td colspan="3">983,495 千円</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	81 ha			保育面積	2,298 ha		路網整備	開設延長	6.9 km			改良延長	10.7 km	総事業費	983,495 千円		
主な事業内容	森林整備	更新面積	81 ha																				
		保育面積	2,298 ha																				
	路網整備	開設延長	6.9 km																				
		改良延長	10.7 km																				
総事業費	983,495 千円																						
費用対効果分析	総 便 益 (B)	6,419,664 千円																					
	総 費 用 (C)	992,277 千円																					
	分析結果 (B/C)	6.47																					
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要性： 地球温暖化防止対策や国土保全、水源涵養及び保健休養等の公益的機能の発揮や木材の安定供給が求められている地域であり、事業の必要性が認められる。</li> <li>・ 効率性： 費用対効果分析の結果から、事業の効率性が認められる。</li> <li>・ 有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する機能を十分発揮させる有効な事業であると認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されていると認められる。</p>																						

## 別紙様式 7

整理番号 2

## 便 益 集 計 表

事業名：森林環境保全整備事業

事業実施主体： 四国森林管理局

事業実施地区名： 南予森林計画区（なんよ）

愛媛森林管理署

（都道府県名：愛媛県）

（単位：千円）

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	664,411	
	流域貯水便益	311,679	
	水質浄化便益	530,737	
山地保全便益	土砂流出防止便益	1,133,203	
環境保全便益	炭素固定便益（樹木固定分）	456,237	
	炭素固定便益（森林土壌蓄積分）	79,005	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	703,068	
	木材利用増進便益	1,134	
	木材生産・確保増進便益	2,155,709	
	木材生産確保・増進便益（森林整備分）	83,107	
	木材生産確保・増進便益（路網整備分）	2,072,602	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	78,448	
	治山経費縮減便益	0	
	森林管理等経費縮減便益	2,410	
	森林整備促進便益	18,184	
	維持管理縮減便益	285,419	
総便益（B）		6,419,644	
総費用（C）		992,277	
費用便益比（B/C）		6.47	